

プルデンシャル倫理行動規範

正しい選択を するために

MTRC

(MAKING THE RIGHT CHOICES)



会長兼CEOからのメッセージ

プルデンシャルは、絶えず変化する世界において経済的問題を解決し、人々の生活をより良いものにするという、非常に大きな責任と機会を共有しています。私たちの共有する目的を果たすとともに、有効な価値をお客さまおよびその他利害関係者に提供するという皆さんの取り組みを通じて、何百万人もの個人のお客さまやご家庭に経済的な安定を実現することができています。

私たちの目的を果たすため、そして約束を守るためには、お客さまとのすべてのやり取りにおいて、また私たちが行うあらゆる決定や選択において、「ビジネスを正しく行う」というプルデンシャルの長年の誓いが、常にその根底に存在していなければなりません。私たちの事業拠点や商品・サービスの提供先、あるいは提供するソリューションといったものは、お客さまのニーズや期待事項や私たちの経営環境等と同様に変化していくものですが、誠実に業務を遂行するという私たちのコミットメントは、決して変わることはない、そして変えることができないものなのです。そして、皆さんがその断固としたコミットメントを支え、正しい行動を取ると期待できると私は確信しています。

プルデンシャル倫理行動規範「正しい選択をするために」は、皆さんが日々業務を行う際に皆さんを支える指針となるものです。プルデンシャルの価値観、原則および意思決定の枠組みにおけるその他要素が記載されています。また、会社が掲げる高い倫理観の基準を満たすために、私たち全員が共有する責任の内容が明確化されています。さらに、約束を守るために役立つ多くの情報が記載されています。

私たちの約束を守るため、そして目的を果たすために、皆さんが行っている貢献の積み重ねとたゆみない取り組みに感謝します。



Charles F. Lowrey

プルデンシャル・ファイナンシャル
会長兼CEO



「私たちの目的を果たすため、そして約束を守るためには、お客さまとのすべてのやり取りにおいて、また私たちが行うあらゆる決定や選択において、『ビジネスを正しく行う』というプルデンシャルの長年の誓いが、常にその根底に存在していなければなりません。」

目次

プルデンシャルの目的、プリンシプル、CORE VALUES	4
「目的」が私たちを一つの組織にします.....	4
プリンシプルが私たちの組織を導きます.....	4
Core Valuesは全ての礎	4
伝統によって支えられる未来.....	5
正しい行いをします.....	6
規範に従う	6
模範を示す	7
助言を求め懸念を報告	8
恐れずに声をあげることへの心配は無用.....	8
プルデンシャルの財務報告の誠実性を保護.....	8
正しい判断を下す	9
倫理的な職場を構築します.....	10
ハラスメントや差別のない職場の構築.....	11
多様な社員の才能の評価と尊重.....	12
安全かつ健全な職場環境の提供.....	12
お客さまに対する責任を果たします	13
お客さまへの倫理的な対応	14
個人情報の保護	14
ビジネスを正しく行います.....	16
誠実性のある競争	17
リスクの管理	17
利益相反の回避	18
資産の保護	18
贈答や接待への責任ある対応.....	20
賄賂やキックバックの拒否	20
マネー・ローンダリングの防止.....	21
責任あるコミュニケーション.....	21
パートナーや第三者との関わりに責任を持つ.....	21
プルデンシャル倫理行動規範「正しい選択をするために」の遵守にあたって.....	22
倫理に関する問題の報告先.....	24

プルデンシャルの目的、プリンシプル^(※)、CORE VALUES

(※) プリンシプル：業務を行う際を守るべき行動原則

「目的」が私たちを一つの組織にします

私たちの「目的」は、個人、ご家族、法人、地域社会に対して140年以上にわたり金融サービスを提供してきたプルデンシャルの伝統を物語っています。また、大小様々な解決策の提供を通じて、より多くの人々の生活の質を向上させる能力があることを示しています。

変わりゆく世界において、経済的な課題を解決することにより、人々の人生をよりよいものにします

プリンシプルが私たちの組織を導きます

「目的」が私たちを一つの組織にする一方、プリンシプルが全てにおいて私たちの組織を導きます。私たちの誠実さ、長期的な目標、人材や企業文化の可能性を実現する力、そして約束をし、実行する能力にプルデンシャル独自の強みがあります。

正しい行いをする

グローバルコミュニティのリーダーとしての役割を認識し、倫理的に行動します。お客さま、社員、投資家、パートナーおよび地域社会からの信頼を大事にします。

長期的な視点に立つ

時代を超えて有用なソリューションを提供することで、長期的に人々の人生をよりよいものにします。また、私たちの現在や将来の判断が与える影響を予測し、賢明なリスクテイクを行います。

人材、企業文化、実行力で勝つ

私たちの多様な人材や多様性を受容できる企業文化は、市場での競争力を高めるだけでなく、お客さまが発展の過程で直面する課題に対処するための革新的なソリューションの開発および実行を可能にします。

約束をする、そして守る

健全な会社経営を行うことで、お客さまのためにリスクを取ることができます。私たちは約束を実現します。お客さまの人生をよりよいものにすることができるかどうかは、長期間に渡って約束を守ることにかかっています。

Core Values は全ての礎

プルデンシャルの Core Values は、倫理的な企業文化を育み、役員・社員の倫理的な行動を促し、いついかなる場合でも正しいことを行うという一人ひとりの責任の土台となります。

信頼に値すること (Worthy of Trust)

私たちは約束を守り、正しく業務を行います。

顧客に焦点をあわせること

(Customer Focused)

私たちは、お客さまの経済的な課題や金融ニーズをとらえた、質の高い商品やソリューション、サービスの提供を常に追い求めます。

お互いに尊敬しあうこと

(Respect for Each Other)

私たちは互いを受け入れ、協力します。また、様々な経歴や能力を持つ人々が力を出し合い、お互いに成長します。

勝つこと (Winning with Integrity)

私たちは、お客さま、社員、株主、地域社会に対し他社より優れた貢献を成し、比類なき業界のリーダーになるべく熱意をもって取り組みます。

伝統によって支えられる未来

1875年、保険代理人のジョン・フェアフィールド・ドライデンが労働者階級にも加入できる生命保険を提供する米国初の会社「プルデンシャル友愛会」を設立しました。この会社は低所得世帯向けに葬儀・埋葬費用を提供する簡易保険を販売しました。以後、プルデンシャルは人々が財務健全性と心の安寧を得られるようにするための取り組みを続けています。

そうした取り組みは、私たちのコミュニティや社会全体にも向けられています。金融ソリューションへのアクセスを拡大し、困難な問題を見極めこれに対処し、インパクト投資を通じてイノベーションを推進することにより、より多くの人々やコミュニティが経済的な安定を得られるようにしています。

私たちは約束を守るという誇り高い伝統を基に会社を築いてきました。ビジネスを正しく行うという私たちのコミットメントはすなわち、私たちがお客さま、社員、投資家、株主、規制当局、コミュニティ、その他の関係者の信頼をどのようにして獲得し続けているかということです。その信頼とは、私たちにとって最も価値のある長期的な財産です。またその信頼とは、変化を続ける世界において経済的問題を解決することによりお客さまの生活をより良いものにするという目的を私たちが果たしていくための基盤でもあります。

この目的を皆で追求していく中で、私たちは現状に疑問を持ち、フィードバックや率直な対話を求め、変化を積極的に受け入れます。自分たちのあらゆる行動にお客さまの視点を常に取り入れます。また、新たな技術を取り入れ、自分たちがどのように働き、競争し、お客さまの期待を越えていくかを強化します。

私たちは責任あるグローバルシチズンとして、環境および社会に対する責任を意識しながら日々の業務の遂行に努めます。持続可能性と社会および経済の発展を促進するパートナーシップや活動に尽力します。世界中の仲間による素晴らしいボランティア精神を歓迎し、奨励します。このコミットメントは、関係者、ならびに私たちの生活や仕事の場となっているコミュニティにとっても有益なものです。

高い倫理基準と誠実性をもちながら継続的な向上を追求するプルデンシャルの旅は、関係者の皆さまにとっての価値を創出するとともに、ポジティブで永続的な変化を世の中にもたらします。

正しい行いをします

プルデンシャルでは、正しい行いをすることを約束しています。プルデンシャル倫理行動規範「正しい選択をするために」は、プルデンシャルで、あるいはプルデンシャルに代わって従事する一人一人がプルデンシャルの期待を理解し、プルデンシャルのプリンシプルとCore Valuesに則った形で業務を遂行する一助となるでしょう。

規範に従う

プルデンシャルは、役員・社員、そしてプルデンシャルに関わる他の人々に対し、高い倫理観と誠実性を持って業務に取り組みプルデンシャルの正しい行いを支える責任があることを認識するよう求めます。プルデンシャル倫理行動規範「正しい選択をするために」はそうした行動に対する期待を大まかに示したものです。プルデンシャルは、私たちとともに、あるいは私たちのために取引を行うすべての人に、以下のことを期待しています。

- ◆ 誠実に、公正に、敬意を持って、倫理的に行動する。
- ◆ いかなる状況でも、日々、倫理観と誠実性をもって業務を遂行することを自らの責務とする。
- ◆ プルデンシャルのお客さま、会社、社員、パートナー、その他の関係者にとって最善の利益となる行動をする。
- ◆ 適用される法令、規制、社内のポリシーの条文とその精神を知り、理解し、遵守する。
- ◆ 業務上の判断は、単に何が容易あるいは好都合であるかではなく、何が正しいかに基づいて行う。
- ◆ プロとして、尊厳と敬意をもって相手に接する。
- ◆ 差別、威嚇、ハラスメントのない、公正で仕事にふさわしく安全な職場を維持する。
- ◆ 互いの才能、能力、経験の多様性を尊重し、相手の意見を大事にし、信頼があり、協力的で、互いを受け入れ、率直な環境を育む。
- ◆ 非倫理的または違法な行動が疑われる場合は、速やかに報告する。報告先についてはP8を参照のこと。
- ◆ 個人情報、機密情報、センシティブ情報、重大な非公開情報を尊重し保護する。
- ◆ お客さまを第一に考え、優れた顧客サービスを提供し、苦情があった際には真摯に受け止め、問題を報告し迅速な是正を図る。
- ◆ 自分たちの業務から生じるリスクを理解し、特定し、連携し、軽減させることにより、リスクを管理する。

模範を示す

プルデンシャルの管理職には、自らの行動、意思決定、問題や意見の相違への対処をもって他の人々に模範を示すこと、あらゆるステークホルダーのプルデンシャルに対する信頼を支えるため確固たる基礎を築くことが、いままで以上に求められています。プルデンシャルのすべての管理職は、以下のことが期待されます。

- ◆ 正しい行動の模範を示し、他の社員に同じようにふるまおうという気持ちにさせる。
- ◆ 自分の責任を果たすこと、そして倫理的な行動が期待され、促されていることを一人一人が理解している職場をつくり、発展させる。
- ◆ プルデンシャルのブランド、社名、評判を高め、守る。
- ◆ 高い倫理基準に基づいた業務上の決定を下す。
- ◆ 最新かつ効果的で社内の方針や市場の変化に適応した統制体制や手順を確立し、維持する。
- ◆ 採用、昇進、報酬、懲戒処分等人事関連の決定を下す際には、倫理観をもった行動を考慮する。
- ◆ オープンなコミュニケーション、信頼の構築、問題の早期解決を通じて、また報復行為を受け入れない方針を会社として追求することで、誰もが安心して問題を提起できる開かれた環境を育む。
- ◆ 会社の研修を期限までに完了させるよう、チームメンバーに働きかける。

自分が
触発されたいのなら
他の人を**触発すること**
ある

助言を求め 懸念を報告

助言を求め、懸念を速やかに報告することは、役員・社員全員の責任です。プルデンシャルの関係者が、非倫理的もしくは違法な行動・行為、または法令・規制・社内のポリシーへの違反に気付いたとき、もしくはそうしたことが合理的に疑われるときは、会計、内部会計管理または監査事項を含めて、その情報を速やかに報告する義務があります。

報告者は、そうして報告する不正や違反が実際にあったという確信がなくても構いません。社員の皆さんが疑念や懸念を誠実に提起することで、そうした疑念や懸念への対処を可能にすることが望まれているのです。自分の声が届いたと感じるまで、懸念を報告し続けるようにしなければなりません。



プルデンシャルの役員・社員およびその他関係者は、様々な方法で懸念を報告することや助言を求めることができます。

- ◆ 経営陣
- ◆ 人事部門の窓口
- ◆ ビジネス・エシックス・オフィサー
- ◆ 企業倫理部門（各社のビジネス・エシックス部門）の窓口
- ◆ グローバル・ビジネス・エシックス&インテグリティ

<https://prudential.ethicspoint.com>

（報告者は、各国の法律で認められている場合、匿名での報告が可能です。報告先に関する詳細はP24を参照のこと。）

- ◆ コンプライアンス部門または法務部門の窓口

プルデンシャルは、問題や懸念を真摯に受け止め、懸念を迅速かつ適切に受領、エスカレーション、解決するための適切な手続きや、申出に対応するための仕組みを整備しています。報告された違反行為を徹底的かつ内密に調査し、当該情報は問題解決のために知る必要のある人以外には開示されません。プルデンシャルは、違反行為の再発防止に努めています。

恐れずに声をあげることへの 心配は無用

自ら進んで懸念を伝えるのは勇気のいることです。倫理、法令、規制、社内のポリシーへの違反のおそれを提起することへの心配は無用です。プルデンシャルでは、関連する法令に従い、非倫理的あるいは違法であると合理的に疑われる行動や行為を誠実に報告した人、そして調査に加わった人に対する報復、脅迫、嫌がらせを固く禁じています。

プルデンシャルは、
懸念の提起を
尊重し、
これを実践した人に対する
報復を許しません

プルデンシャルの財務報告の 誠実性を保護

正確かつ適時の財務会計記録はプルデンシャルの効果的な経営のために不可欠です。プルデンシャルでは財務報告情報の誠実性と信頼性を守る適切な管理策を義務づけしており、財務報告および会計に関するすべての適用される法令を遵守しています。いかなる形でもプルデンシャルの記録の誠実性が損なわれることは許されません。

正しい判断を下す

難しい判断に直面したときや、ある状況下で行うべきことがわからないときは、下記の手順に従うことでプルデンシャルに対する外部からの信頼の維持につながる判断を下すことができます。



立ち止まる

行動を起こす前にまず立ち止まり、その状況にどのように取り組むべきかを考えることで、感情的な判断や正当化から抜け出し、取るべき一連の行動が明らかになります。



考える

以下の質問を通じて、自分たちの行動や判断から生じる予想通りの結果や予想外の結果についてじっくりと考えることができます。

倫理観、法令、規制、社内のポリシーに従っているか？

お客さま、会社、社員、その他の利害関係者にとって最善の利益となるか？

誰がしても大丈夫なことであるか？

そうすることが可能であるのなら、そうすべきか？

もしその行為や判断がニュースになったら、自分はそのことを誇れるか？



行動する

上記の質問への答えに1つでも「いいえ」があった場合、重大な結末をもたらす可能性があります。

管理職、あるいは人事部門、コンプライアンス部門、法務部門、各社のビジネス・エシックス窓口と当該状況について話し合うことです。そうした人たちは利害関係者にとっての長期的な利益となる正しい判断を下すためのアドバイスをしてくれるでしょう。判断を下すために、さらなる報告が必要になる場合もあります。

質問: あなたは財務の担当ではありませんが、ある大規模な活動計画の記帳に不正確な点があるのではないかという疑いを持ちました。プルデンシャルの記帳の財務上の誠実性は、あなたの責任でしょうか？

回答: そうです。記帳の正確性は特定の職務の仕事ではありません。会社の記帳が正確、完全で、適切に文書化されていることを確保するのは私たち全員の責任です。問題が疑われるときは、報告する義務があります。

質問: 同僚がしていることが社内のポリシーに違反ではないかと思いましたが、確信はなく、あなたへの直接的な影響もありません。あなたは何か言うべきでしょうか？

回答: はい。プルデンシャルでは、プルデンシャルの関係者全員が、たとえ自分に影響のないことであっても法令、規制、社内のポリシーの違反や非倫理的な行動の疑いを報告することを期待しています。違反が報告されずにいるとプルデンシャルの評判が損なわれ、同僚、お客さま、そして会社が危険にさらされる可能性があります。場合によっては、規制上や法律上の問題につながるおそれもあります。確信がなくても、懸念や違反の疑いを内々に報告してください。これは皆さんの責任です。プルデンシャルはそれを要求しており、役員、社員、その他の関係者による懸念の提起を頼りにしています。

倫理的な 職場を構築 します

プルデンシャルは最高水準の誠実性を維持する職場環境を構築し推進することをその方針として掲げ、その実現に取り組んでいます。互いの貢献を高く評価し、誰もが成功の機会を平等に持つべきであるとする包摂的な、他者への敬意にあふれた環境づくりに力を入れており、そのような環境は私たちの目的の達成に不可欠なものです。

ハラスメントや差別のない職場の構築

プルデンシャルは、いかなる種類のハラスメント、役員・社員を不快にさせる侮辱的な行為、敬意に欠ける行為が存在しない職場環境を求めます。プルデンシャルはハラスメントを禁じるすべての現地法を遵守し、役員・社員に対してもあらゆる状況下でこれを遵守することを期待しています。差別、威嚇、ハラスメントのない公正かつ仕事にふさわしい安全な職場を維持する責任は、プルデンシャルに関わるすべての人にあります。

プルデンシャルは、募集、採用、報酬、研修機会、昇進、懲戒、退職、業務関連の社会活動、その他雇用条件等雇用のあらゆる側面において、またプルデンシャルの事業の遂行に際して、一切の違法な差別を許しません。また、威嚇的あるいは敵対的な労働環境をもたらす、あるいは職務の遂行の妨げとなるいかなる行為も許しません。さらに、プルデンシャルの社内のポリシー、基準、手順、ガイドラインに反する行動や慣行に対して誠実に苦情の申し立てをした人物に対する報復を許しません。

プルデンシャルは、能力あるすべての人物に対し、適用される法令に従った雇用や昇進の機会を提供します。新たな社員を迎える際には、プルデンシャルは適用される法令に従って募集および採用を行い、候補者全員を公平に扱います。採用は、仕事に関係した資格、功績、能力に基づいて行います。プルデンシャルは各地域および職責別に、社員の採用における特定の手順を定めています。

質問: あなたのグループに不快な冗談を言う人がいます。そうした冗談をやめるように何度も伝えたにも関わらず、その人はそれを無視し、あなたに対してユーモアのセンスがないと言っています。あなたはどのようにすべきでしょうか？

回答: この問題は、管理職、人事部門、ビジネス・エシックス・オフィサー、または各社のビジネス・エシックス窓口へ報告すべきです。プルデンシャルは安全でお互いを尊重する職場環境の構築に取り組んでいます。プルデンシャルの役員・社員全員が職業上ふさわしい振る舞いをし、職場の人たちを尊重し、ハラスメントのない生産的な職場環境の維持に貢献するよう期待されています。



質問: 採用担当マネージャーであるあなたは、外部とのコミュニケーションに携わるポストの候補者の履歴書を見て、検討しています。あなたはチームの主要メンバーと共に複数の有望な候補者の面接を行い、上位3名まで絞りました。第一候補者は女性であり、雇用した場合は当該ポジションに就く初めての女性になります。この要因を判断に含めるべきですか？

回答: いいえ。マネージャーは、ジェンダーやその他の保護特性に関係なく、応募者の資質に基づいて採用に関するすべての判断を下すべきです。ただし、適用される法令によってはこの限りではありません。

質問: あなたは隣の席に座っている同僚が勤務時間中に飲酒し、薬を服用しているところを目にしました。その同僚は、その日、仕事で自動車の運転をすることになっており、あなたは心配になりました。あなたはどうすべきでしょうか？

回答: 社員および職場環境の安全に関して妥協すべきではありません。その懸念を上司、人事部門、または各社のビジネス・エシックス窓口伝え、プルデンシャルがその同僚に必要なサポートを提供する機会を得られるようにします。

多様な社員の才能の評価と尊重

プルデンシャルは、すべての社員、そしてそれぞれの能力、長所、相違を包括した職場環境づくりを積極的に行い、これを促進しています。ビジネスのあらゆる側面で多様性に取り組み、互いに、また、お客さま、第三者、そして私たちが関わり合うすべての人々の多様性を尊重しています。人種、民族、出身国、ジェンダー、性的指向、性同一性、障害、宗教、兵役経験の有無およびその他分野における個人の相違（保護特性）を尊重することで、より強く、より成功する組織、そしてお客さま、社員およびコミュニティを反映した組織になります。

安全かつ健全な職場環境の提供

プルデンシャルは、職場の健全性、快適さおよび安全性を最大限に高めた企業文化をつくり、それを維持していくことに取り組んでいます。それらを維持していくため、プルデンシャルに関係する誰もがプルデンシャルのセキュリティ部門の窓口の指示に従い、それらを脅かす状況があれば直ちにセキュリティ部門の窓口へ報告する責任を負っています。

その他、プルデンシャルはいかなる場合も人身売買およびその他の強制労働や奴隷制を許しません。また、そうしたことに関わるいかなる第三者とも取引をしません。



お客さまに対する責任を果たします

プルデンシャルでは、正しい行いをするという事は、私たちのあらゆる行動にお客さまの視点を取り入れることを重視することであると考えています。すなわち、お客さまを第一に考え、お客さまの望みやニーズに対応し、お客さまの経験に応じた対応をし、お客さまの将来のニーズを予測することです。プルデンシャルの役員・社員の一人一人が、お客さまの経済的問題を解決するお手伝いをするなかで、お客さまにとっての有意義な経験を創出することを期待しています。



質問: あなたはプルデンシャルの社員です。お客さまが署名した用紙に、ある情報が欠けていることに気がきました。そのお客さまとの会話内容から、どんな情報を記入すべきかあなたは知っています。あなたは自分自身でその用紙に記入するべきでしょうか？

回答: その情報を記入しなければならないのが、営業社員ではなくお客さまである場合は、あなたがその用紙に記入すべきではありません。申請書が不完全であり、お客さまがすべての必要情報を記入するまでは処理に回せない旨を、お客さまに通知すべきです。組織と個人が、自分にとって容易または都合の良いことではなく、正しいことを行うことにより、組織と個人の両方が、誠実さという価値のある評判をうることができず。

お客さまへの倫理的な対応

適用される法令・規制・社内のポリシーを遵守するだけでなく、プルデンシャルに関係するすべての人が高い倫理観を維持することをプルデンシャルは期待しています。プロとして敬意ある振る舞いをし、お客さまからの問合せやご要望に耳を傾け、迅速に対応し、質の高い商品、ソリューション、サービスを提供することが期待されます。

プルデンシャルは広告、マーケティング、お客さまサービスのやりとりにおいて、公正かつ誠実なやり方で、お客さまに明確かつ正確な情報を提供し、短期・長期の約束を果たしています。プルデンシャルの商品、サービス、ソリューションのマーケティングや営業の方法については、社内のポリシーで定められています。また、商品、サービス、ソリューションの営業で重要な責任を担う人に要求される資格、コミュニケーション、行動に関する厳しいガイドラインを設けています。

お客さまからの苦情があったときは、社内のポリシーおよび適用される法令に則って速やかな報告、検討、解決を図ります。

個人情報の保護

データと情報の保護

プルデンシャルでは私たちおよび私たちの業務環境に託されたデータの保護に力を注いでいます。プルデンシャルの情報の保護およびプライバシーに関するグローバルプログラムにより、データの収集、使用、保管、移送、保護に関する管理策や基準が定められています。お客さまの利益およびプルデンシャルの利益を最大限に保護するため、プルデンシャルのシステムへのアクセス権を持つ人は、プルデンシャルのデータ保護への取り組みをサポートする自らの責任を自覚するだけでなく、サイバー攻撃やプライバシー侵害を防止するための具体的な方法も理解していることが期待されます。Eメールや添付ファイルを開く前に送信元を確認し、プルデンシャルの業務上の記録は、Eメールも含め、個人的なあるいは業務に関係のない外部のアカウントやリポジトリに送信すべきではありません。

プルデンシャルはサイバー脅威やサイバー攻撃を防止し、検出し、対応するための技術、プロセス、管理策、知識を常に評価し、発展させています。プルデンシャルに関わるすべての人は、プルデンシャルのデータやオペレーティングシステムを危険にさらす行為を積極的に報告することが期待されています。

分析およびデータ収集の進歩は、サービスのパーソナル化、詐欺や不正使用の発見、リソースの効率的な利用等様々な恩恵を個人や組織にもたらします。プルデンシャルでは、信頼のおける持続可能なデータプラクティスを通じてデータの倫理的な収集と利用に最大限の努力を払っています。

個人情報やセンシティブ情報への配慮

信頼を維持していくため、私たちは、お客さま、社員、当社と取引のある他の人々の個人情報を保護する責務があります。私たちは、社内のポリシーおよび適用される法令に従って、そうした人々のプライバシーを尊重し、配慮しています。

プルデンシャルは、個人を特定する情報（例：氏名、署名、住所、米国社会保障番号や住民登録番号等国別識別子、生年月日、運転免許証番号）、個人の認証やアカウントへのアクセス提供のための使用される情報（例：ユーザー名、Eメールアドレス、パスワード、PIN、ID番号、セキュリティの質問への答え）、個人に特有のまたは個人に関する情報でセンシティブ情報となりうるもの（例：個人の医療・健康情報、保険証券/口座番号、保険証券/口座金額）を保護します。

個人情報へのアクセスを有する社員およびその他のプルデンシャル関係者は全員、そうした情報を保護し、その秘密を維持し、適用するプライバシー通知に従って使用し、適切な許可と正当な知る必要性を有する者のみにアクセスを制限する必要があります。

プルデンシャルは、プルデンシャルのプライバシーに関する取り組みをいくつかの手段を通じてお客さまや社員にお知らせしています。法的要件に従ったプライバシー通知を社員およびお客さまに提供し、プルデンシャルによる顧客情報の収集、使用、保管、移送、保護の一般的な方法を説明しています。



質問: あなたは、フェイスブックとInstagramに、プルデンシャルのお客さまと交わしたビジネスについての会話についてコメントを載せました。その際、そのお客さまの名前を載せ、あなたの顧客である旨記載しました。そのお客さまの名前以外の情報は明らかにしていないので、こうした行為は問題ないでしょうか？

回答: いいえ。こうした行為は、プルデンシャルのグローバルプライバシーポリシーに違反する行為です。プルデンシャルでは、お客さまとの関係が存在するという事実も含め、プルデンシャルのお客さまと社員に関する個人情報だけでなく、委託業者と取引先およびその社員に関するすべての個人情報を安全かつ機密扱いで保管するよう定めています。

ビジネスを

正しく

行います

プルデンシャルが約140年間にわたって続いてきた理由の1つが、ビジネスをいかに遂行するかに関してプルデンシャルが持つ長期的展望です。誇りを持てる商品、ソリューション、サービスを販売し、倫理観と誠実性をビジネスにおける優先課題とし、第三者に対しても高い倫理観を要求することが、プルデンシャルが長きにわたって事業を持続させ、約束を守っていくための方法の一部となっています。

誠実性のある競争

プルデンシャルは、自由で公正な競争の妨げとなる行為や独占禁止法および不正競争防止法の違反となりうる行為はいたしません。適切なベンチマーキングや独占禁止法を遵守するように設定されたその他の承認済みの方法を通じて行う以外には、機密情報を競合企業に開示することも競合企業から入手することもしてはいけません。また、適切な権利なしには他者の知的財産等を使用しません。

リスクの管理

プルデンシャルは、リスクを管理する仕事をしており、私たちの行うサービスから生じるリスクを理解し、特定し、軽減することに力を入れています。組織全体から幅広い人材や専門知識を集め、リスクを効果的に管理するために起こりうる結果や決定を共同で分析しています。プルデンシャルは私たち一人一人に、リスクに関して意見の不一致や疑問があれば、適時に連携および報告することを期待しています。



質問: あなたは、ある上級幹部が権力を濫用してプロジェクトでの失敗を隠蔽していると考えています。あなたはどうすべきですか？

回答: プルデンシャルでの社員または関係者の職務レベルは、プルデンシャル倫理行動規範「正しい選択をするために」に反する行為の弁解にはなりません。懸念があれば報告すべきであり、あなたにはその責任があります。プルデンシャルは違反している可能性のある人物の職務レベルに関係なく懸念事項を検証します。管理職は、正しい行動の模範を示す立場にあることから、より高い行動基準が適用されます。

質問: あなたは、プルデンシャルに雇用される前にITコンサルタントとして働いていた経験があり、退社後や週末には当時のクライアントとの関係性を続けたいと考えています。そうしたクライアントには、プルデンシャルの顧客もプルデンシャルの競合先も含まれていませんか。この行為は許されるのでしょうか？

回答: 原則として認められませんが、状況によって異なります。兼業に関するあらゆる詳細情報を上司およびその他の承認者に開示し、実際の利益相反またはそのおそれの有無について判断を仰ぐ必要があります。あなたの兼業がプルデンシャルと競合せず、プルデンシャルの顧客もいない場合には兼業が認められる可能性もありますが、勤務時間中にはそうした兼業を行わないこと、会社のリソースを使用しないこと、自分がプルデンシャルの社員であると言わないこと等、具体的な条件が設けられます。各社の兼業のポリシーに即した対応が必要です。

質問: あなたはプルデンシャルの社員であり、プルデンシャルのプロジェクトのために第三者の採用を担当しています。あなたの近所に住む友人が所有する会社からの入札がありました。あなたはどのようにすべきでしょうか？

回答: 商取引における個人的な利益相反またはそのように見える状態を生まないようにする必要があります。会社の利益が優先されなければなりません。当該オーナーとの関係を上司に開示するべきです。あなたはこの選定プロセスへの関与を辞退しなければならないかもしれません。プロジェクトに最もふさわしいサービス提供者を選定するため、当該企業の入札がそれ以外の第三者と同様に検討されるようにする必要があります。

質問: あなたは継続教育課程で週1回のビジネスの授業を受講しています。担当教授は授業で実例を使用することが学生にとって重要であると考えています。あなたはプルデンシャルが生命保険分野の会社を買収するかもしれないと聞いたことがあり、買収が検討されている会社名を誰にも話さなければ、この情報を授業で共有しても良いでしょうか？

回答: いいえ。その情報を共有することはできません。その情報は機密情報です。センシティブ情報が早まって開示されると会社に害を及ぼす可能性があり、違法となる場合もあります。買収の可能性のような機密情報や重大な非公開情報を公共の場で開示することのないよう注意する必要があります。また、同僚、営業社員、取引先、コンサルタント、第三者、個人的な知り合い等を含め、知る必要のない人に対して機密情報を明かさなことも重要です。

利益相反の回避

社員は全員、プルデンシャルならびにプルデンシャルの株主、お客さま、またはその他の利害関係者の利益に相反するまたは相反すると思われる活動、権益、提携関係を開示することが義務づけられています。これには、本人の客観性や公正なビジネス上の判断を損ないうる、あるいはプルデンシャルの事業遂行能力を脅かすような個人的な投資、商取引、関係、政治献金、特定の犯罪への関与、家族の活動や社外での活動が含まれる場合があります。

また、私たちには、プルデンシャル内で生じうる組織レベルの利益相反の特定および報告も義務付けられています。組織レベルの利益相反とは、ある利益を犠牲にして別の利益を図りたいという動機を会社が持っている状態を指します。例としては、お客さまの利益よりも会社の利益を図ることや、あるお客さまの利益を犠牲にして別のお客さまの利益を図ること等が挙げられます。

資産の保護

プルデンシャルの専有情報および資産の保護

専有情報や資産の保護は、プルデンシャルの評判を維持するためにも、プルデンシャルがお客さま、株主、その他の利害関係者に対する義務を果たすためにも重要なことです。機密情報、秘匿特権付きの情報、専有情報、ビジネスに関するセンシティブ情報を保護するために適切な対策を講じることが期待されています。また、こうした種類の情報の共有は、知る必要がある場合のみ、なおかつプルデンシャルの事業を促進するためにのみ行われます。

プルデンシャルの資産を保護するため、ビジネスに関係するやりとりをする際には、その形式（文書、Eメール、イントラネットもしくはインターネット、会話、プレゼンテーション等）に関わらず、高い倫理観、法令、規制、社内のポリシー、望ましいビジネス慣行に留意してください。



プルデンシャルの商標その他の知的財産の保護

プルデンシャルの社名および象徴的なシンボルマークであるジブラルタ・ロックは、プルデンシャルのビジネスの意義、専門知識・技術および強さを表しています。プルデンシャルのブランドやその他の知的財産は会社の重大かつ価値ある財産であり、許可された目的以外に使用してはいけません。プルデンシャルの知的財産の価値と誠実性を維持するため、役員・社員もプルデンシャルのその他の関係者も適切な管理を実施し、プルデンシャルの知的財産を使用する際や使用させる際には事前に許可を求めることになっています。



質問: あなたの友人は、プルデンシャルでの元同僚でしたが、現在は競合企業で働いています。その友人は、かつて自分がプルデンシャルで働いていたときに作成した書式やスプレッドシートの一部を、自分の新たな勤務先のために再作成したいと思っています。あなたはその友人から、それら文書の電子コピーを送ってほしいと頼まれましたが、その友人に送付しても良いでしょうか？

回答: いいえ。その元社員が作成した資料であっても、会社に帰属します。この情報を送付した場合、あなたはプルデンシャルに対する義務違反となり、プルデンシャル倫理行動規範「正しい選択をするために」や社内のポリシーに違反するものと想定され、法的措置が講じられる可能性もあります。

社員はプルデンシャルのすべての情報を保護しなければならず、明示的な許可を得ない限りは会社の内外を問わずいかなる人にも開示してはいけません。機密情報および専有情報に関するプルデンシャルに対するあなたの義務について知り、理解する必要があります。

質問: 新規の業者がお礼としてあなたの部署の全員へのギフトカードの送付を希望しており、チーム内の全員の名前と仕事用のEメールアドレスの一覧表を求めています。あなたはどのようにすべきでしょうか？

回答: まず、贈答と接待に関する社内のポリシーを確認し、可能であるかどうかを判断します。その上で、それ以外にコンプライアンスやプライバシーの問題がないか、法務部門またはコンプライアンス部門の窓口を確認します。

贈答や接待への責任ある対応

贈答のやりとりや接待の申し出はビジネス慣行として一般的に行われていますが、よかれと思って実施した贈答や申し出が誤解されたり、本意に沿わないものになったりすることがあります。プルデンシャルの役員・社員は、贈答および接待に関して自分に適用される法令、規制、社内のポリシーを知り、理解し、不適切である、または自分や会社に不当な利益をもたらすものとみなされるいかなる行為も回避することが期待されています。

さらに、プルデンシャルの役員・社員は、政治献金および政治家や政府関係者の接待に適用される社内のポリシーに従うことが期待されています。

賄賂やキックバックの拒否

プルデンシャルは社内のポリシーにより賄賂や汚職を明示的に定義し、禁止しています。レベルや職務にかかわらずプルデンシャルを代表するいかなる者も、社内のポリシー、海外腐敗行為防止法、現地で適用される贈収賄／腐敗行為防止法を理解し、遵守する責任があります。



マネー・ローンダリングの防止

プルデンシャルは、非合法活動からの収益に関わる金融取引やテロリストの活動を支援する金融取引（一般的に「マネー・ローンダリング」や「テロ資金供与」と呼ばれています）に故意に関与せず、米国財務省外国資産管理室規制や米国以外での同様の規制の違反となるいかなる取引にも関与しません。私たちは日々の業務の中でマネー・ローンダリングの発見および防止という重要な役割を担っていることから、プルデンシャルのお客さまを知り、文書による十分な裏付けのある必要情報をお客さまとの関係の全期間にわたって維持し、すべての金融取引の性質と目的を知っておくことが期待されています。

責任あるコミュニケーション

プルデンシャルでは、役員・社員は、デジタル通信およびインターネット接続を、社内のポリシーおよび基準に従って合法的かつ倫理的に使用することが期待されています。こうしたポリシーは、プルデンシャルのシステムと接続されている個人の電子機器の使用にも適用される場合があります。

役員・社員は、業務上の重要な通信の際はすべて、プルデンシャルのシステムを使用して送受信しなければならず、こうしたシステムの使用時にはプライバシーを期待すべきではありません。役員・社員はこのシステムを業務外の目的に使用しないようにすべきですが、プルデンシャルの業務に支障がなく、社内のポリシーや基準で禁止されていないケースでは、プルデンシャルのシステムの一時的な個人的使用が許されています。

プルデンシャルを代表してコミュニケーションを行う権限があるのは、特定の役員・社員のみです。マスコミからの要求はすべて、広報部門に委ねてください。

パートナーや第三者との関わりに責任を持つ

プルデンシャルはパートナーや第三者と取引をしており、そうしたパートナーや第三者にも高い倫理観と誠実性のある行動を求めます。プルデンシャルでは第三者と関わり合う際のリスクを評価し管理するポリシーを定めています。第三者との取り決めにおいては、交渉に基づき、プルデンシャルにとって最善の利益を追求します。また、公正かつ倫理的なプロセスを経て、かつ実績に基づいて取り決めを承認します。第三者リスク管理基準を設け、第三者のライフサイクル全体にわたってリスクを効果的かつ一貫性をもって管理するための包括的なプログラムの枠組みおよび要件を定めています。



質問: プルデンシャルの商品に対して批判的で、なおかつ誤った情報が含まれているブログの投稿を目にしました。あなたはプルデンシャルを代表して対応し、正しい情報を提供するべきでしょうか？

回答: いいえ。あなたが権限を与えられた広報部門の窓口でない限りは、広報部門に報告してください。同部門が対応します。

プルデンシャル倫理行動規範 「正しい選択をするために」

の遵守にあたって

プルデンシャル倫理行動規範「正しい選択をするために」は倫理的な決定をする際に役立つ手引きです。すべてを網羅することやプルデンシャルの業務の遂行で生じうるあらゆる状況を取り上げ、業務上の決定の手引きとなり、プルデンシャルの倫理基準を満たすための枠組みや構造を示しています。最も困難な問題に取り組み、より良い世界への変革の一助となるという目的に導かれたプルデンシャルの歩みの核となっているのが、高い倫理観と誠実性です。

プルデンシャル倫理行動規範「正しい選択をするために」は、プルデンシャルが事業を営んでいる国の法令の下で許容される範囲で適用します。プルデンシャル倫理行動規範「正しい選択をするために」にそうした法令と矛盾する部分がある場合には、当該法令が優先します。プルデンシャル倫理行動規範「正しい選択をするために」の中で「規制」というときは、法令に類する要求事項を指します。詳細情報が必要な場合には、コンプライアンス部門または法務部門の窓口にお問い合わせください。

プルデンシャル倫理行動規範「正しい選択をするために」は、プルデンシャルのすべてのポリシーと同様に、プルデンシャルとプルデンシャルの役員・社員、またはプルデンシャルの取引先との間のいかなる種類の契約を構成・作成するものではありません。

プルデンシャルのポリシー

プルデンシャルは十分に管理された業務環境を維持しており、一連の正式なポリシーもこれに含まれます。それらのポリシーは、役員・社員がプルデンシャルの業務を遂行する中で指針となることを目的としています。利益相反や証券取引に関するポリシー等一部のポリシーは、家族にも適用されます。

正しい判断をし、目的を果たしていくためには、すべての社内のポリシーを遵守することが不可欠です。

役員・社員は、各自の業務やコーポレートセンターに適用されるその他の社内のポリシーのほか、コンプライアンス・マニュアル、人事関連のポリシー、経費関連のマニュアル等のその他のポリシーも調べるのが期待されています。こうした情報は電子的に閲覧可能であるほか、状況に応じて主管部門、人事部門、コンプライアンス部門や法務部門の窓口でも入手できます。そうした資料はプルデンシャルが期待する事項を理解するために役立つものです。

プルデンシャルが株式の過半数を支配している関連会社の取締役および社員にも、プルデンシャルのポリシーが適用されます。多くの場合、プルデンシャルと取引のある第三者や請負業者も、そうしたポリシーに定める原則を含む契約条件を理解し、これを遵守することに同意するという確認を求められます。

懲戒処分

プルデンシャルは社員を公平に扱う懲戒プロセスを用いています。プルデンシャル倫理行動規範「正しい選択をするために」、社内のポリシー、法令、規制に反する行動があった場合は、最高で解雇を含む懲戒処分が科される可能性があります。プルデンシャルは、犯罪およびその他違法行為を計画、または実行した者を調査し、状況に応じて起訴を求めるか、あるいは政府機関に付託します。

監督

プルデンシャル倫理行動規範「正しい選択をするために」および倫理・コンプライアンスプログラムはプルデンシャルの取締役会の承認および全面的な支持を得ています。

倫理に関する問題の報告先

グローバル・ビジネス・エシックス&インテグリティ

◆グローバル・ビジネス・エシックス・ウェブサイト：<https://prudential.ethicspoint.com>

◆グローバル・ビジネス・エシックス・ホットライン

独立した第三者機関によって運営され、毎日24時間、複数の言語で対応が可能です。

報告者は、各国の法律で認められている場合、匿名での報告が可能です。

ホットラインで報告可能な範囲が国によって異なる場合があります。

国	フリーダイヤル番号
アルゼンチン.....	0800-444-3653
ブラジル.....	0800-891-2823
カナダ.....	800-752-7024
中国	
北部.....	10-800-711-0917
南部.....	10-800-110-0843
ドイツ.....	0800-182-2978
香港.....	800-930264
インド.....	000-117-888-847-5288
アイルランド.....	1-800-946-552
イタリア.....	800-902-527
日本	
KDD	00531-11-3339
ソフトバンクテレコム.....	0066-33-830194
NTT	0034-800-900261
日本では一部の電話会社、携帯電話、インターネット電話から上記電話番号につながらないことがあります。	
韓国.....	00798-11-002-3653
マレーシア.....	1-800-885-523
メキシコ.....	01-800-436-0062
オランダ.....	0808-234-2695
シンガポール.....	800-1101-707
台湾.....	00801-104-229
イギリス	0808-234-2695
米国	800-752-7024

◆グローバル・ビジネス・エシックス郵送先住所、eメールアドレス

Prudential Financial, Global Business Ethics & Integrity 751 Broad Street, Newark, New Jersey 07102, USA

ethics@prudential.com

Global Business Ethics & Integrity,
751 Broad Street, Newark, New Jersey 07102, USA,
ethics@prudential.com,
(800) 752-7024

米国プルデンシャル・ファイナンシャル・インク (Prudential Financial, Inc.) は、英国プルデンシャル plc (Prudential plc) とはなんら関係はありません。

2022年4月改定

